

全国瞬時警報システム
(Jアラート) に関する
全国一斉情報伝達訓練
を行います

【訓練実施日時】

11月14日(火) 11時頃

【訓練放送内容】

〈上り4音チャイム〉

「これは、Jアラートのテストです。」(3回繰り返し)「こちらは、ほうさいもばらです。」

〈下り4音チャイム〉

市では、地震や武力攻撃などの災害時に備え、次のとおり情報伝達訓練を行います。この訓練は、Jアラートを用いた全国一斉の情報伝達訓練で、本市においても市内の防災行政無線から下記のとおり放送されます。ご理解・ご協力をお願いします。

お問い合わせは、

総務課防災対策室(4階)

☎(20)1519、FAX(20)1602へ。

「市長と話し合う会」 意見交換のテーマを決定しました!

◆テーマ

- ①子育て支援について
- ②空き家・空き地対策について

本年度は、開催方法をリニューアルし、テーマに沿って意見交換を行います。参加を希望される方は、直接会場にお越しください。

自由な雰囲気意見交換が行われるよう、皆様のご配慮をお願いします。

- ◆開催日時 11月19日(土) 13時30分~16時
- ◆開催場所 市役所市民室

お問い合わせは、秘書広報課(3階)
☎(20)1512、FAX(20)1601へ。

市長が行く

ドクターヘリについて



茂原市長 田中豊彦

先日撮影が茂原でも行われ、話題となったテレビドラマ「コード・ブルー」を見られた方は、ドクターヘリの活躍に心躍らせたことと思いませんか。ドクターヘリは、ドラマでも描かれていたように、救急搬送だけが目的ではなく、現場に救急医療に精通した医師や看護師を派遣します。そのため、初期医療開始までの時間は短縮されますし、患者の状態を安定させて迅速に高度医療機関へ運ぶことが可能となります。

今、千葉県には、2機のドクターヘリがあり、1機は日本医科大学千葉北総病院に、もう1機は君津中央病院に配置されています。ちなみにこの2機のドクターヘリは、ドクターヘリなら30分で行き来でき、3次医療には欠かせない役目を果たしています。千葉県にドクターヘリのシステムが導入されたのは平成13年で、他に比べると比較的

早い段階だったと記憶しております。その当時、ドクターヘリの飛行には、気象条件が大いに影響するため、雪の多い東北地方や北海道などは運用が難しいといわれていました。それでも少しずつ増加して、今では(平成29年3月現在)全国41道府県に51機配備されるようになってきています(北海道には4機あります)。

ただ全国的に見ても、2機所有しているところはまだそれほど多くはなく、千葉県は恵まれてる方だと思えます。この地域の医療過疎問題について、再三このコラムでも書いてきましたが、ドクターヘリは、それを解決する一翼を担っていると言えます。しかしその運航は天候に左右されやすく、また大きなマイナス要因として、夜間飛行ができないという問題があります。昨年一年間の、長生地域のドクターヘリ要請は、全部で95件でした。茂原市内で、へ

リポートとして利用される場所は、川中島下水処理場、富士見公園、本納スポーツ広場、五郷小学校、萩原小学校、豊岡小学校、緑ヶ丘小学校、二宮小学校、本納中学校などです。また主な搬送先は、君津中央病院、県循環器病センター、北総病院、東千葉メディカルセンター、亀田総合病院、塩田記念病院、県救急医療センター、帝京大学ちば総合医療センター、千葉大学医学部附属病院などです。

本来であれば、ドクターヘリに頼らなくても十分な救急医療が受けられることが望ましいのです。この地域のより一層の医療の充実を、国や県にさらに要望していきます。もう何回もしていますけどね。

※1機あたり年間約2億円の維持費がかかり、また、世界的に見ると、アメリカでは約800機、ドイツでは約80機保有しているとのこと。日本でも増やす必要があるのではないかと。